

会議結果報告書

1. 会 議 名 平成 30 年度 第 2 回 印西市環境審議会
2. 日 時 平成 30 年 12 月 17 日(月) 14:00～16:10
3. 場 所 印西市役所 別館 1 階 農業委員会会議室
4. 出席者 委 員：藤田、阿部、鈴木(康)、岩井、片倉、坂本、鶴岡、江畑、渡邊
※欠席／山本、室井
事務局：高橋（環境経済部長）、細谷（環境保全課長）、
黒田、海老原（環境保全課 保全係）、瀬口、増山（エヌエス環境）
5. 配布資料
 - ・平成 30 年度 第 2 回印西市環境審議会 会議次第
 - ・平成 30 年度 第 2 回印西市環境審議会 席次表
 - ・印西市環境審議会委員名簿
 - ・印西市環境審議会の意見まとめ
 - ・印西市環境白書 概要版
6. 内 容
 - (1) 開 会
阿部委員挨拶
 - (2) 議 題
 - 1) 「印西市環境白書（案）」について
(会 長) 環境審議会委員からの意見・提案について、基本目標ごとに掲載内容を検討したい。あらかじめ委員のみなさんから頂いた意見をまとめ、集約している。これをもとに検討したい。なお、基本目標 2 については、一部集約し忘れたため、別紙として整理したので注意されたい。最初に基本目標 3 から検討したい。これについては、「3-1 自然景観、自然環境」「3-2 ゴミ捨て、クリーン活動」「3-3 空き家対策」の 3 つに分けられるようだ。最初に「3-1 自然景観、自然環境」から検討したい。
(委 員) 市と共同して作成した「里山マップ」を積極的に活用していただきたい。
(会 長) 次に「3-2 ゴミ捨て、クリーン活動」に移る。
(委 員) ニュータウンの外郭の道路沿いにごみが多いので、掲示等が必要である。
(会 長) 次の「3-1 空き家対策」については、環境白書の主旨と若干異なるため、提案から除きたい。よって、基本目標 3 については、「1、2」、「3、5、6」をそれぞれまと

めて2項目の提案としたい。

(会 長) 次の基本目標4に移りたい。ここでは「4-1 ゴミ減量」と「4-2 省エネと再生可能エネ」に分けられるようだ。最初に「4-1 ゴミ減量」について検討したい。

(委 員) プラスチックが普及し、世界的にもマイクロプラスチックの影響が表れており、何かしらの対策が必要である。プラスチックが海に流れていることが問題であり、リサイクルがどうなっているのかについて、市民が関心を持つことが重要である。

(委 員) ごみの減量化・資源化について、学校においては、出前授業などを継続することが重要である。

(会 長) 次に「4-2 省エネと再生可能エネ」に移りたい。

(委 員) 自然環境と調和した太陽光発電施設の設置が必要である。

(会 長) 事務局に聞きたいが、太陽光発電の設置の場合、届け出は必要なのか。

(事務局) 景観条例では、500 m²以上については届出が必要で、環境保全課でもガイドラインの作成を検討している。

(会 長) それでは、基本目標4の提案をまとめる。「4-1 ゴミ減量」についてはプラスチックという言葉を入れながら、2R 中心に作成したい。「4-2 省エネと再生可能エネ」については太陽光発電に関する自然との調和などに関する情報の発信と LED 化や省エネの具体例をおりまぜながらまとめたい。

(会 長) 次に基本目標5に移る。ここでは「5-1 人材育成」「5-2 市民の環境意識の向上」「5-3 森林環境譲与税」に区分した。最初に「5-1 人材育成」から検討する。

(委 員) 子どもたちが自ら発言する機会を設けることが必要である。

(委 員) 子どもたちに命の大切さを知ってもらいたい、小中学校ではそのような教育はしているのか。

(委 員) 人権週間では人の命の大切さを教育し、道徳や理科の授業でも扱っている。

(委 員) 昆虫採集で種が絶滅することはない。逆に、その経験が後に環境保全につながると考えている。

(委 員) 世界的に動物を殺さない方法が検討されており、動物実験なども減ってきているのが近年の傾向である。

(会 長) 「5-2 市民の環境意識の向上」に移りたい。

(委 員) 「市民」は、子どもたちを含めて記載した。

(会 長) 次に「5-3 森林環境譲与税」に移る。

(委 員) 印西でも森林環境譲与税を上手に活用してほしい。

(会 長) 森林環境譲与税については、基本目標1の里山森林の管理ということになるので、ここでの提案からは除きたい。よって、基本目標5については、「5-1 人材育成」の「3, 4」と「5-2 市民の環境意識の向上」の「5」を一つにし、「5-2 市民の

環境意識の向上」の「1」として、2つの提案としてまとめたい。

(会 長) 次に、基本目標 2 については「2-1 河川の水質浄化」「2-2 生活道路」「2-3 放射性物質」「2-4 薬剤散布」の 4 つに分類した。「2-1 河川の水質浄化」から検討する。

(委 員) 一部ではあるが、浄化槽を設置していない家については、設置の働きかけが必要である。

(委 員) 若干、設置していない家は残っているが、環境への影響はそれほどないと思う。

(委 員) 師戸川の水質の悪化について、原因究明をお願いしたい。

(委 員) 白書では、市民に状況を伝えることが重要である。

(委 員) 湖沼については、近隣市町村との連携が必要である。師戸川は、産廃の埋立が原因ではないか。

(事務局) 一番の原因は、採取箇所が師戸川の上流で、流量が少なく、周辺環境の影響を直接受けていることが原因だと考えている。

(委 員) 複数の箇所で、取ってみてはどうか。

(会 長) 今後、事務局で検討してほしい。ということで「2-1 河川の水質浄化」については「1、3、4、8」を一つにまとめて提案としたい。続いて「2-2 生活道路」に移る。

(委 員) 私の住んでいる地区では大型トラックが生活道路を通過するので、排出ガス・騒音・振動などを抑制するためにも、関係機関と協力して対応願いたい。

(委 員) 幹線道路に取り囲まれた生活道路の走行速度を抑える「ゾーン 30」について、来年 4 月以降に高花地区において試行予定である。他の地区でも適用されるよう連携して欲しい。

(会 長) 「2-2 生活道路」については、「5、6」を一つにまとめることで提案としたい。なお、「2-3 放射性物質」については、白書でモニタリングを継続しているため、提案からは除外したい。続いて、「2-4 薬剤散布」を検討したい。

(委 員) 街路樹等の薬剤散布は虫がいらないのに散布するケースや、アレルギー問題があるので、必要最小限にしてほしい。

(委 員) 緑地などで散布すると実を食べる鳥にも影響があるので、先ほどの意見に同意する。

(会 長) それでは、基本目標 2 については、以上 3 つの提案とし、基本目標 1 に移る。ここでは「1-1 有害鳥獣対策」「1-2 水辺、森林、里山保全とその維持」「1-3 都市と自然の調和」「1-4 諸提案」の 4 つに区分した。

(委 員) JA 木更津がイノシシを撃退する方法を開発し、効果を上げているので、殺すのではなく、是非「生きものと共存」することを検討いただきたい。

(委 員) 悪い動物と良い動物に分けて考えていることが問題。被害と関連づけて市民へ情

報発信するべきである。

(委 員) 市民と動物の棲み分けが必要である。

(委 員) イノシシについては、印西から周辺に広がっているという情報がある。コントロールできる頭数は超えている。また、カミツキガメについては印旛沼において生態系に影響がでている。対策はしているが、目標には達していない。

(会 長) 「1-1 有害鳥獣対策」については、共存を図りながらも、コントロールが必要な部分については、管理する必要があることを提案したい。続いて「1-2 水辺、森林、里山保全とその維持」に移りたい。これについては、たくさんの意見を頂いているが、個別にまとめるのではなく、それぞれのご意見を入れながらまとめたいと考える。その他、何かあるか。

(委 員) 公園の管理については見た目をきれいにするのではなく、森林のように切った木を積んだり、放置したりして、生きものの住み家とするなど、生物多様性に配慮してほしい。明治神宮などは、落ち葉処分をせず、経費節減にもつながっている。

(会 長) 「1-3 都市と自然の調和」に移る。

(委 員) 印西市に住んでいる方も、印西市の魅力を把握しきれていないので、情報発信に努めてほしい。

(会 長) その他「1-4 諸提案」については、補足はあるか。

(委 員) 印旛沼の自転車道が雑草で見通しが悪く危険である。

(会 長) また 11 の農業経営の法人化については、別問題と考え、提案から除きたい。12 の農作物被害については、先ほど事務局から説明済みである。よって、基本目標 1 については、「1、7、10」を一つの提案、「2、3、5、6、9」をまとめ、8 についてはそのまま、全部で 2～3 項目の提案でまとめたい。以上について、概ねまとまったと考えている。今後、事務局と調整して、提案をまとめていきたい。

2) その他

(会 長) その他、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 環境審議会委員からの意見・提案については、会長と調整して、作成していく。皆様からの意見については、関連部署に通知し、市役所内で合意形成を図る予定である。また、白書については誤字脱字の修正など、変更する可能性があることを了解されたい。白書が完成したら皆様に送付する。

(会 長) それでは、本日の議事はこれで終了する。

3) 閉 会

以 上

平成30年度第2回印西市環境審議会会議録は、事実と相違ないことを承認する。

平成31年2月28日

印西市環境審議会会長 藤 田 尚 美